～地域に支え合いの花を咲かせましょう～

地域の困りごとは様々で、その内容も地域により異なります。そこで支え合いの地域づくりについて話し合う場「協議体(支え合い推進会議)」と、「岡山市支え合い推進員(生活支援コーディネーター)」を配置し、お互いが協力しながら「支え合いの地域づくり」を進める地域づくりに取り組んでいます。

協議体(支え合い推進会議)

みんなで話し合って、『あったらいいな!』を形にしていく「協議と実践の場」

自分の住む地域が「こうなったらいいよね」という思いで話し合い、その実現に向けて無理のない範囲で取り組みながら、
その地域ならではの支え合いや助け合いのやり方を考える場です。

現状

うちの町内では閉じこもりがちになっている
お年寄りが増えている

※協議体のメンバーはテーマによっていろいろ

まずは地域の情報を集めて整理してみよう!

例えば…

理想

気軽に集まって話ができる場がもっと必要かも!

※協議体のメンバーはテーマによっていろいろ

こんな活動あったらいいな!

協議体の一例(大元学区)

「チーム大元」が立ち上がりました!

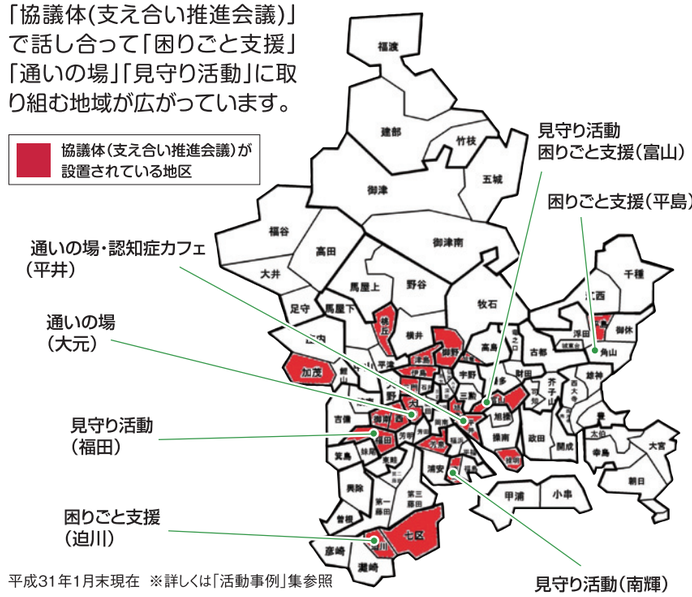
住民のつながりを考える勉強会をきっかけに結成。大元学区が、より住みやすい支え合いのまちになるように、まずは、身近にできることからやってみよう!と動き始めました。

「大元ワイワイふれあいカフェ」

月2回大元公民館で開催。学区民なら誰でも参加可能。おしゃべり、季節の行事、世代間交流等なんでもOKな場です。

岡山市内でも始まっています!「支え合い・助け合いの活動」

「協議体(支え合い推進会議)」で話し合って「困りごと支援」「通いの場」「見守り活動」に取り組む地域が広がっています。



平成31年1月末現在　※詳しくは「活動事例」集参照

取り組みの一例(富山学区)

「とみやま助け合い隊」が立ち上がりました!

学区民の日常生活の困りごとを、同じ学区のサポーターによって解決していく"共助"の仕組みをつくりました。料金はサポーター1人について30分まで300円、以後10分毎に100円になります。「誰もが、住み慣れたこのまちで、末永く、自分らしく暮らす」地域にしていきたいです。

・皆の力を合わせることで、様々な地域課題にも対応できます。
・福祉関係者でなくても、色々な分野の人に参加してほしい!!
・それぞれが得意なことを活かすと、できることが増えます。

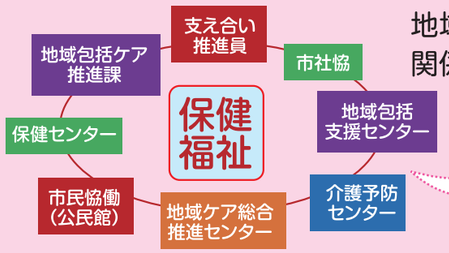
岡山市支え合い推進員(生活支援コーディネーター)

岡山市支え合い推進員は支え合い・助け合いの地域づくりをお手伝いする専門職です。
岡山市内には６人の支え合い推進員が岡山市社会福祉協議会に配置されています。
協議体と協力し、支え合いの地域づくりを広げるために、地域の様々な活動や人をつなげたり、支え合い活動の立ち上げなどをお手伝いします。

協議体と協力

地域づくり支援ネットワーク(小中学校区単位で地域づくりを支えるチーム)

地域づくりに携わる行政部署・関係機関が連携して支えます。



これらの機関はつながっています。
どの窓口からでも、お声かけください。

こんな声をいただいています

- 行政が連携してくれたことがありがたい。
- 同じようなことをする組織は沢山あっても、どこが何をしてくれるのか分からなかった。本当にたすかる!